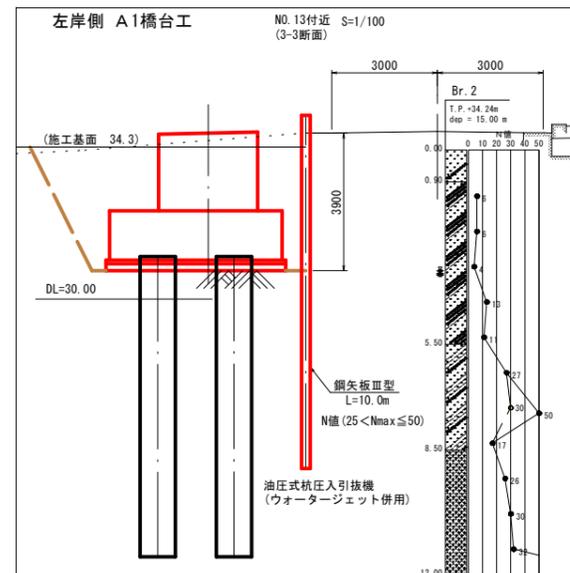
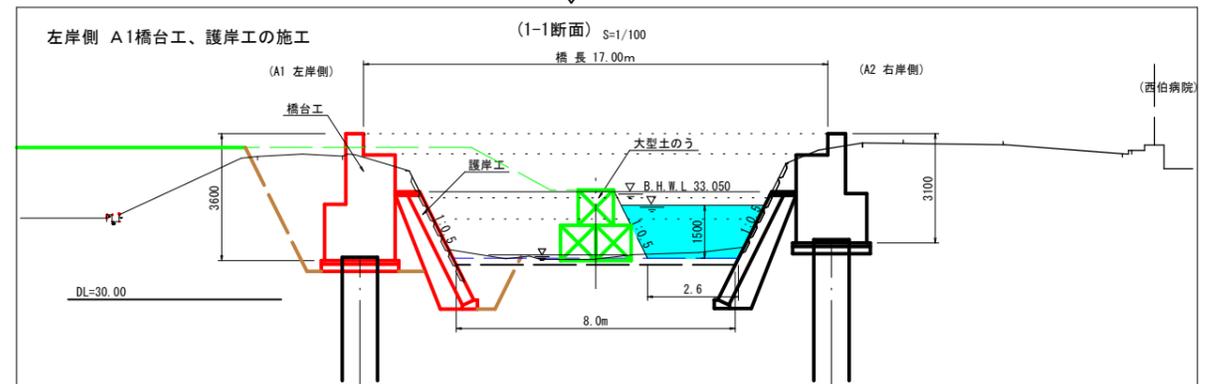
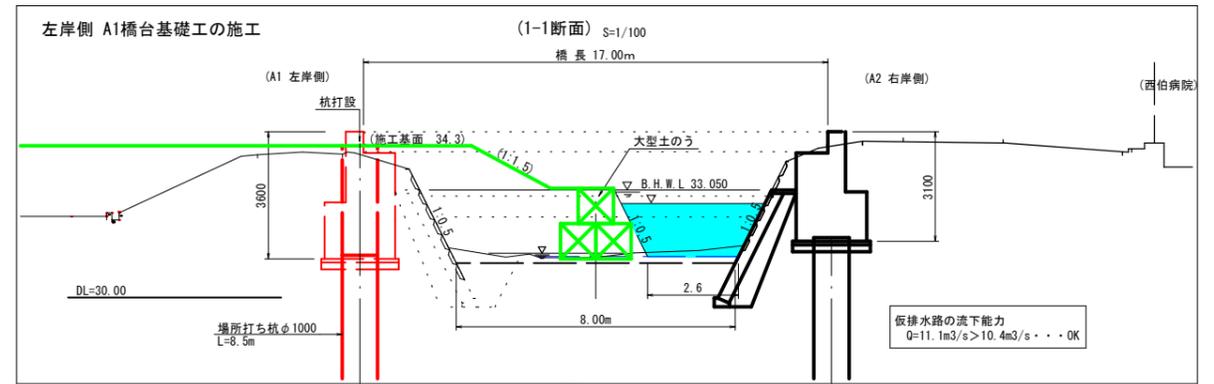
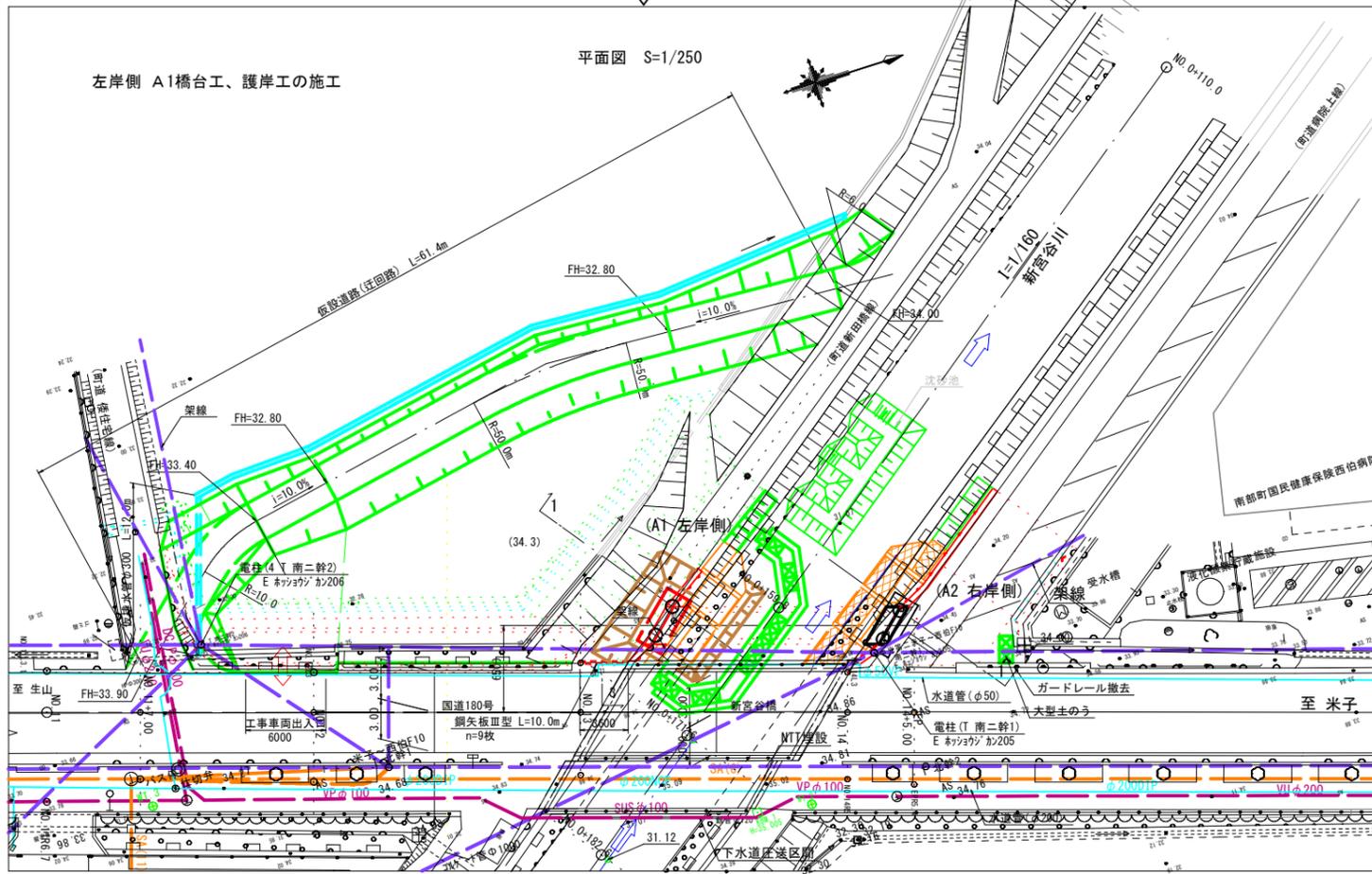
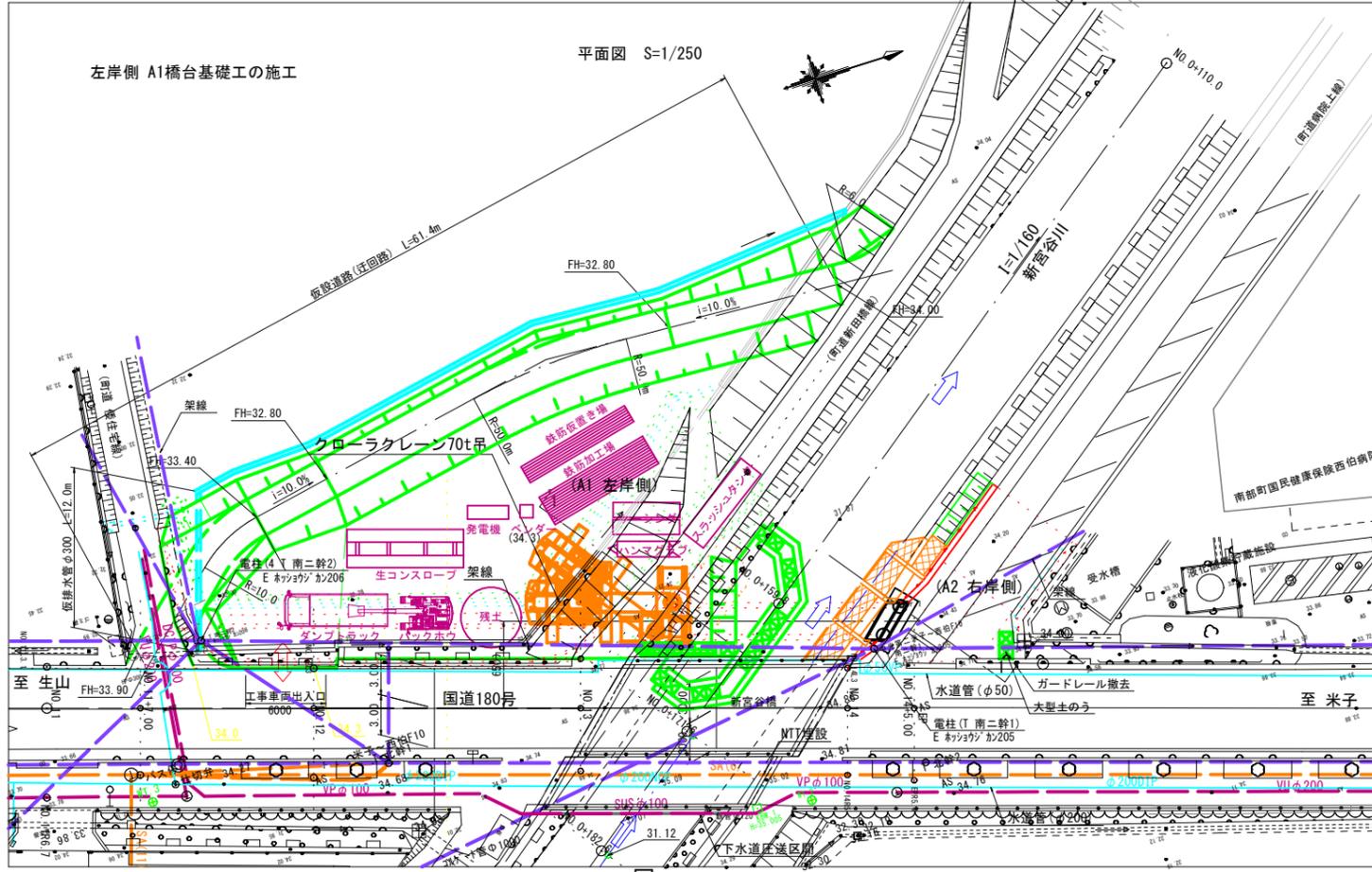
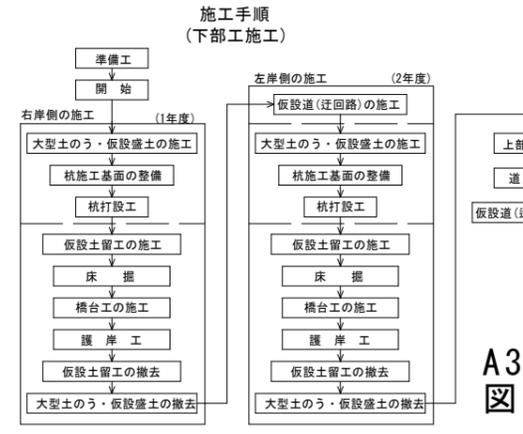


下部工施工計画図(案) (2/2)
左岸側の施工(2年度)



- 施工上の留意事項**
- 支障物件、既設埋設管について
当計画区間の工事に支障となる支障物件(電柱、架線、水道管等)の仮移設、復旧等の施工はこれら関係機関との協議を行い安全性及び施工性を考慮し施工を進めていくことが必要である。
・橋梁工事付近での支障物件
電柱及び架線: 1南二幹1(E: 新宮谷川 205), 4南二幹2(E: 新宮谷川 206)
地下埋設物: 水道管(φ50)
 - 河川内の工事
新宮谷川を渡る橋梁の工事であり、河川内の工事は非出水期間(11月~6月)の施工とする。
降雨等により河川水位の上昇には十分留意し、作業開始前には気象情報を確認すること。
 - 現道交通に対する留意点
・国道180号
既設橋に隣接した橋梁の工事であり、現道(国道180号)に隣接工事となり、施工時は警備員を配置しての誘導等、安全性の配慮が必要である。
・左岸側管理道(町道)
左岸側下部工施工時~上部工業架設時は借地により仮設道路(迂回路)を設置する計画としている。
・右岸側管理道(町道)
右岸側管理道(町道)は、病院関係者の駐車場として利用されている。
下部工施工時(右岸側)においては、国道からの進入は禁止とし、駐車スペースを施工ヤードとして利用する計画としている。
町道管理者(南都町、病院関係者等)と関係機関との協議を行い施工を進めていくことが必要である。
 - 仮設土留工
自立式矢板は既設橋台の直近の背後に打設する計画としている。
矢板が既設橋台に干渉した場合は、打設位置の変更等が必要となることより、打設前に橋台背後の形状を試掘等により確認すること。
矢板の打設工法は、打設地盤のN値が(25<Nmax≤50)、また病院に隣接しており無振動となる「油圧式杭圧入引抜機(ウォータージェット併用)」を想定している。
 - 環境対策等
当現場は病院に隣接していることより工事中の騒音・振動対策について十分配慮した施工を行うこと。
架橋位置は一級河川法勝寺川の合流点(9/200付近)より上流170m付近の新宮谷川(砂防指定あり)である。南都町、進協等と関係機関との協議を行い施工を進めていくことが必要である。



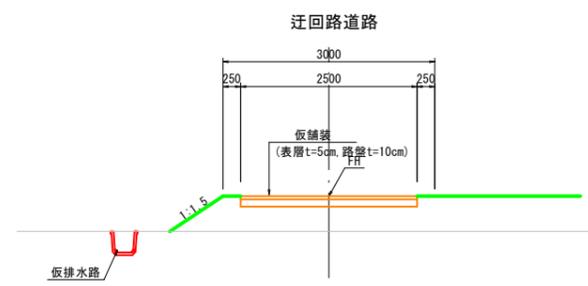
A3印刷では縮尺が
図示の50%

参考図

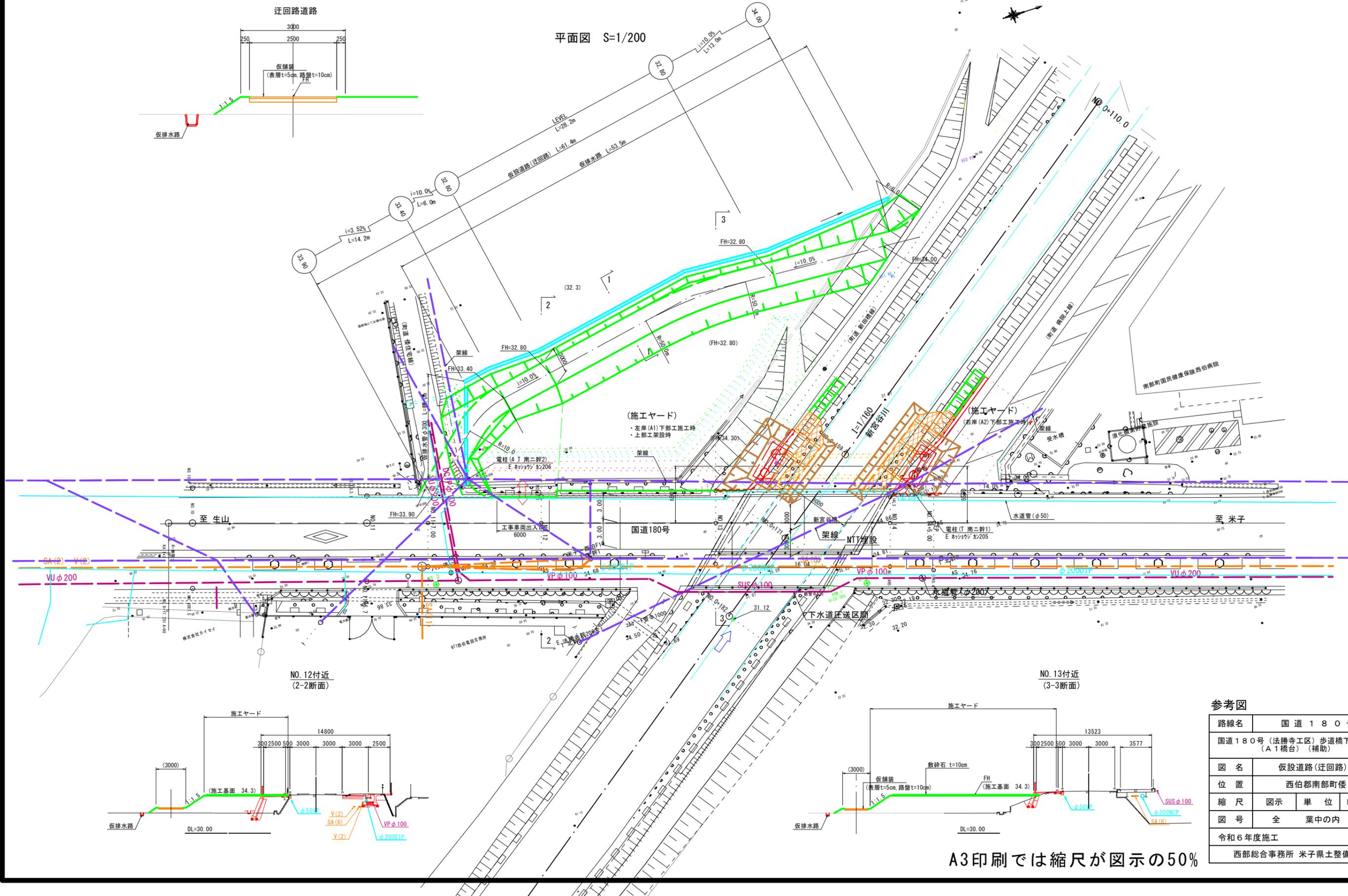
路線名	国道180号
位置	西伯郡南都町倭
縮尺	図示 単位 M,MM
図号	全 葉中の内
令和6年度施工	鳥取県 西部総合事務所 米子県土整備局

仮設道路(迂回路)(案)

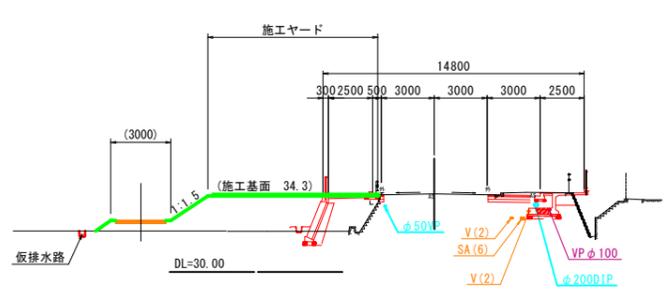
標準断面図 S=1/50
(1-1断面)



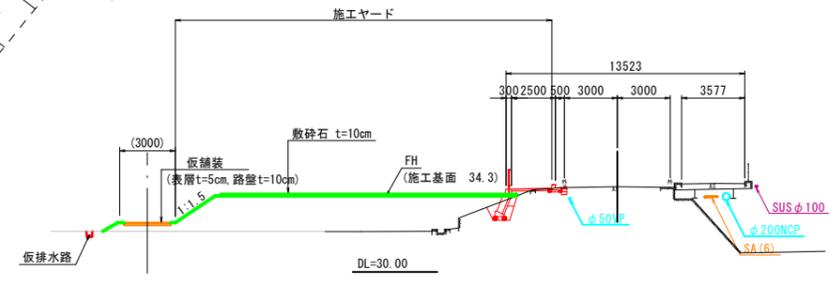
平面図 S=1/200



NO.12付近
(2-2断面)



NO.13付近
(3-3断面)



A3印刷では縮尺が図示の50%

参考図	
路線名	国道180号
国道180号(法勝寺工区)歩道橋下部工事(A1橋台)(補助)	
図名	仮設道路(迂回路)図
位置	西伯郡南部町倭
縮尺	図示 単位 M.MM
図号	全 葉中の内
令和6年度施工	鳥取県
西部総合事務所 米子県土整備局	